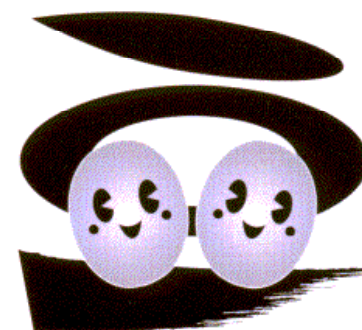


大豆の需給・価格の動向等



平成 18 年 10 月 26 日
大豆の需給・価格情報に関する委員会
(全中・全農・全集連主催)

1. 17年産大豆の価格・販売結果

(1) 月別販売状況

17年産大豆の販売数量は、9月末で約14万3,687トン、全ての販売を終了した。

交付金対象大豆月別販売状況

(単位:トン)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
13年産	月別数量(t)	576	2,463	6,815	10,241	37,412	36,256	20,447	19,662	22,757	12,583	10,777
	累計数量(t)	576	3,039	9,853	20,094	57,506	93,762	114,209	133,870	156,627	169,210	179,987
14年産	月別数量(t)	1,276	4,397	8,401	22,365	47,039	36,915	23,873	33,376	5,255	2,964	-
	累計数量(t)	1,276	5,673	14,074	36,439	83,478	120,393	144,267	177,643	182,897	185,861	-
15年産	月別数量(t)	2,848	11,927	25,705	49,009	26,796	14,254	6,010	4,441	6,879	952	-
	累計数量(t)	2,848	14,776	40,480	89,489	116,285	130,539	136,550	140,991	147,870	148,822	-
16年産	月別数量(t)	1,069	21,587	28,292	19,501	11,242	6,084	4,968	4,720	173	-	-
	累計数量(t)	1,069	22,656	50,948	70,450	81,691	87,776	92,744	97,464	97,637	-	-
17年産	月別数量(t)	992	8,329	17,697	8,711	13,960	33,558	9,116	10,916	27,402	7,128	5,879
	累計数量(t)	992	9,321	27,018	35,729	49,689	83,247	92,363	103,279	130,680	137,808	143,687

(2) 販売方法別販売状況

販売方法別では、入札による販売が26%、相対取引による販売が15%、契約栽培が59%となっている。

販売方法別販売状況

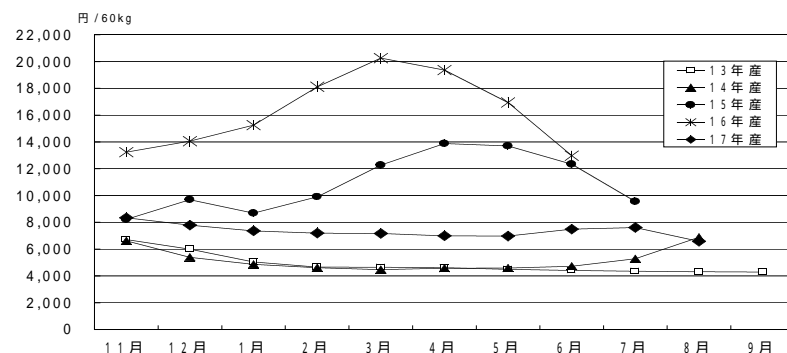
(単位:トン)

	販売数量	割合	参考(16年産)	割合
入札販売	37,752	26%	34,772	36%
相対販売	20,745	15%	4,170	4%
契約栽培	85,190	59%	58,695	60%
計	143,687	100%	97,637	100%

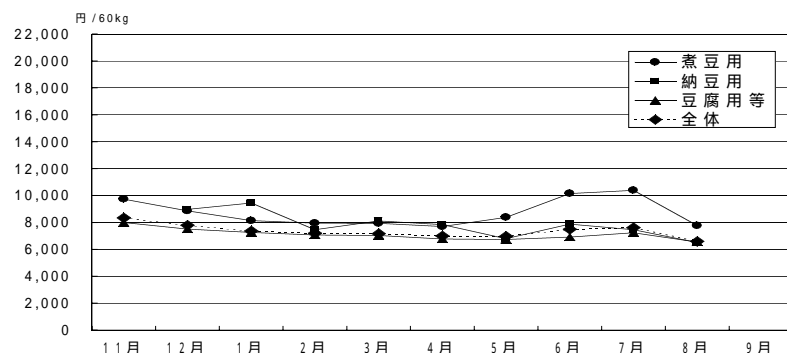
(3) 入札販売状況

17年産大豆の入札販売価格は、17年11月入札開始当初の前年同期比4割安8,341円/60kg（消費税込）から、緩やかな低下傾向で推移した。6、7月にはやや上昇したものの、累計平均価格は7,277円/60kg（消費税込、前年比44%）となった。また、落札率は50～30%台で推移したが、このような状況は、16年産の不作により国産大豆の需要が一部輸入に置き替わったこと、17年産の供給数量が前年産に比べて増加したことから先安感があったこと、16年産の高値の流通在庫の存在等によるものと考えられる。

月別販売価格の推移（13～17年産）



17年産大豆用途別販売価格の推移



17年産大豆入札販売結果（各県主要銘柄）

（単位：円/60kg(消費税込)）

産地	品種銘柄	平均価格	産地	品種銘柄	平均価格
北海道	ツルムスメ	7,867	福井	エンレイ	6,778
	音更大袖振	9,027	長野	ナカセンナリ	7,306
	とよまさり	8,615	岐阜	フクユタカ	6,766
	スズマル	7,435	静岡	フクユタカ	8,821
	秋田	7,899	愛知	フクユタカ	7,218
青森	おおすず	7,272	三重	フクユタカ	6,780
	ナンブシロメ	7,299	滋賀	オオツル	7,214
	ミヤギシロメ	7,656		フクユタカ	6,736
	タンレイ	6,858	兵庫	サチユタカ	7,817
	タチナガハ	6,918	奈良	サチユタカ	7,146
秋田	あやこがね	6,891	鳥取	サチユタカ	6,454
	リュウホウ	6,979	島根	サチユタカ	6,504
	リュウホウ	6,846	岡山	サチユタカ	8,088
	タチユタカ	6,628	広島	サチユタカ	6,685
	スズユタカ	6,738	山口	サチユタカ	6,465
福島	タチナガハ	6,605	香川	フクユタカ	7,350
	タチナガハ	6,856	愛媛	フクユタカ	6,986
	納豆小粒	8,206	高知	フクユタカ	9,341
	タチナガハ	6,989	福岡	フクユタカ	6,838
	タチナガハ	7,208	佐賀	むらゆたか	7,594
群馬	タチナガハ	7,584		フクユタカ	7,349
埼玉	フクユタカ	7,337	長崎	フクユタカ	7,306
千葉	エンレイ	7,053	熊本	フクユタカ	6,748
新潟	エンレイ	7,318	大分	むらゆたか	6,960
富山	エンレイ	6,834	鹿児島	フクユタカ	7,562

（注）各県の主要銘柄は集荷数量の上位銘柄とした。

2. 需要・消費動向

(1) 豆腐・納豆の消費状況

家計調査（総務省統計局）による大豆加工品に係る一世帯当たりの支出金額等について、18年4～8月の動向を見ると、豆腐については、購入数量（対前年同期比1.9%増）及び支出金額（同1.3%増）とも増加傾向にある。

一方、納豆については、18年4～8月の支出金額では対前年同期比1.2%減と減少傾向にある。

一世帯当たりの支出金額の推移（全世帯）

	豆腐				納豆		食料		消費支出	
	金額(円)		数量(丁)		金額(円)		金額(円)		金額(円)	
		前年比(%)		前年比(%)		前年比(%)		前年比(%)		前年比(%)
平成13年度	7,011	4.3	73.48	2.3	4,015	8.9	940,605	2.6	3,676,606	3.4
平成14年度	6,898	1.6	74.56	1.5	4,096	2.0	937,776	0.3	3,655,076	0.6
平成15年度	6,766	1.9	73.98	0.8	4,085	0.3	924,634	1.4	3,649,016	0.2
平成16年度	6,640	1.9	74.17	0.3	4,092	0.2	914,843	1.1	3,640,063	0.2
平成17年度	6,355	4.3	71.78	3.2	3,803	7.1	898,476	1.8	3,589,838	1.4
平成17年9月	540	2.5	6.06	0.8	314	6.8	72,161	1.0	288,978	0.5
平成17年10月	518	6.7	6.07	3.3	329	12.0	74,696	1.3	300,306	1.1
平成17年11月	515	3.4	5.86	1.5	303	13.7	71,373	2.2	284,465	1.0
平成17年12月	551	1.3	6.41	2.7	304	9.0	96,353	1.6	346,230	0.4
平成18年1月	504	1.4	5.56	3.5	297	6.6	67,927	4.1	294,170	3.0
平成18年2月	468	1.7	5.32	2.9	295	7.8	64,983	3.1	269,750	1.6
平成18年3月	480	1.4	5.52	3.2	321	8.0	72,929	0.9	313,886	2.3
平成18年4月	489	1.2	5.56	3.0	321	3.0	71,104	1.1	313,664	1.8
平成18年5月	542	0.4	6.20	4.2	328	6.3	74,795	2.4	292,169	1.3
平成18年6月	556	1.4	6.38	1.5	313	4.6	71,159	0.9	281,193	0.8
平成18年7月	599	1.2	6.49	1.1	321	0.6	76,546	2.0	292,924	0.3
平成18年8月	629	4.8	6.95	5.5	338	9.7	79,291	0.3	291,597	2.7

資料：総務省統計局「家計調査」（農林漁家世帯を除く全世帯）

(2) 国産大豆シンボルマーク申出企業

9月末現在のシンボルマークの申出数は、5月以降5件増加し、全体で389件となった。

国産大豆シンボルマーク使用申出数

	煮豆	豆腐	納豆	味噌	醤油	きな粉	他(問屋等)	計
5月末現在	14	226	43	34	5	4	58	384
9月末現在	14	227	43	34	5	4	62	389

3. 18年産大豆の生産状況

(1) 18年産大豆の作付面積

農林水産省の発表（9月20日）によると、18年産大豆の作付面積は14万2,000haで、前年に比べ8,000ha（前年産対比6%）増加した。

地域別には、北海道では小豆、いんげん等からの転換があったことから前年に比べ7,000ha（前年産対比33%）増加し、都府県においても他作物から転換等により、900ha（前年産対比1%）増加している。

18年産大豆の作付面積

単位：ha

	17年産			18年産		
		田	畑		田	畑
全 国	134,000	110,500	23,500	142,000	117,500	24,500
北 海 道	21,100	11,000	10,000	28,100	16,300	11,800
都 府 県	113,000	99,500	13,500	113,900	101,200	12,700
東 北	34,300	29,000	5,220	35,500	30,700	4,830
関 東	16,500	12,400	4,040	15,600	11,700	3,880
北 陸	14,900	14,000	884	15,000	14,100	842
東 海	9,370	8,670	697	9,550	8,890	655
近 畿	7,390	7,030	355	7,840	7,510	324
中国四国	8,000	6,800	1,200	7,950	6,810	1,140
九 州	22,600	21,500	1,070	22,500	21,500	1,000

(2) 18年産大豆の生育状況

主要道県からの報告によると、10月1日現在の生育状況は概ね順調であるが、主産県の福岡、佐賀等では、台風13号による倒伏、潮害等の被害が発生している。

18年産大豆の生育概況（10月1日現在）

地 域	生育ステージ	生 育 概 況
北 海 道	成熟期	生育は概ね順調である。
東 北	粒肥大期～成熟期	生育は概ね順調である。
関 東	粒肥大期～成熟期	生育は概ね順調であるが、一部地域でやや生育量の不足が見られる。
北 陸	黄葉期～成熟期	生育は概ね順調である。
東 海	粒肥大期～成熟期	生育は概ね順調である。
近 畿	粒肥大期～成熟期	生育は概ね順調である
中 四 国	粒肥大期～黄葉期	生育は概ね順調であるが、山口で台風13号による茎葉損傷、倒伏等の被害が発生している。
九 州	粒肥大期	主産県の福岡、佐賀等で台風13号による倒伏、潮害等の被害が発生している。

(3) 18年産大豆の集荷見込み

18年産大豆の集荷量は、現時点で約16万8千ト(対前年比117%)を見込んでいる。

1 8 年産大豆の集荷見込み

(単位:ト)

	17年産 集荷実績	18年産 集荷見込み	前年 対比
全農計	138,735	158,000	114%
札幌	26,650	48,200	181%
東京	50,972	55,200	108%
名古屋	20,792	18,800	90%
大阪	8,497	9,900	117%
福岡	31,824	25,800	81%
全集連	4,952	9,600	194%
合 計	143,687	167,600	117%

合計はラウンドのため一致しない場合がある。

(4) 契約栽培のは種前契約締結状況

18年産の契約栽培については、は種前契約の予定数量で約7万8千トを締結している。また、期別の個別売買契約締結計画に基づき、円滑な受渡を行っていく。

1 8 年産契約栽培に係るは種前契約締結状況

(単位:ト)

	18年産 生産計画(6月)	は種前契約 (予定数量)	契約 比率
全農計	156,240	74,500	48%
札幌	34,450	14,900	43%
東京	53,310	27,100	51%
名古屋	20,150	8,100	40%
大阪	8,470	5,500	65%
福岡	39,850	18,900	47%
全集連	6,630	3,300	50%
合 計	162,870	77,800	48%

合計はラウンドのため一致しない場合がある。

期別の個別売買契約締結計画

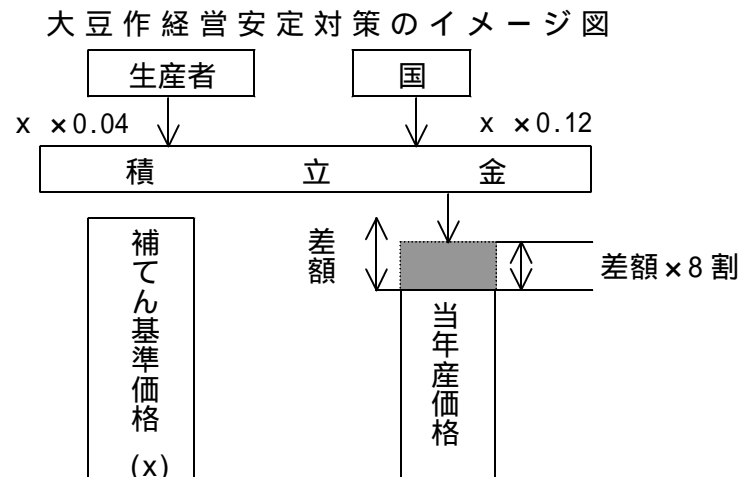
	第1期 (11~2月)	第2期 (3~5月)	第3期 (6~8月)	計
全農				
北海道	1,400 9%	3,300 22%	10,200 68%	14,900 100%
東北・北陸	5,700 23%	8,500 33%	11,300 44%	25,500 100%
関東	600 10%	2,200 34%	3,500 56%	6,300 100%
東海	300 8%	1,300 39%	2,000 53%	3,600 100%
近畿・中国四 国	300 6%	500 10%	4,500 84%	5,300 100%
九州	900 5%	6,000 32%	12,000 63%	18,900 100%
全集連	100 3%	1,500 45%	1,700 52%	3,300 100%
合計	9,300	23,300	45,200	77,800

合計はラウンドのため一致しない場合がある。

4. 17年産大豆作経営安定対策に係る当該年産価格の決定について

大豆作経営安定対策に係る当該年産価格については、大豆作経営安定対策実施要領（平成12年4月6日付け12農産第2050号）第5により、産年の翌年10月までの入札取引により形成された価格の加重平均値として銘柄毎に算出し、大豆情報委員会を通じて公表するものとされている。

17年産については、8月までに入札取引が終了し、当該年産価格を算出したので、別表の通り公表する。



大豆作経営安定対策のスケジュール(18年産)	
18年5月	補てん基準価格の決定
18年6月末	生産者加入契約・数量契約
18年7月末	生産者拠出金の納付
出荷量の 確定後	契約数量の変更・ 生産者拠出金の精算
19年11月	18年産価格の決定 銘柄別補てん率の決定(全農・全集連)
20年3月ごろ	補てん金の交付

(別表) 17年産大豆作経営安定対策に係る当該年産価格

県名	銘柄名	当該年産価格
北海道	秋田	7,523
	大袖の舞	6,549
	大袖振	9,573
	音更大袖振	8,597
	スズヒメ	7,010
	スズマル	7,081
	つるの子	11,592
	ツルムスメ	7,492
	とよまさり	8,205
	ハヤヒカリ	6,558
	ユキシズカ	6,785
	その他	7,597
青森	おおすず	6,926
	スズカリ	7,227
	オクシロメ	6,300
	とよまさり	6,300
	その他	5,197
岩手	靑丸くん	7,558
	コスズ	7,320
	スズカリ	6,750
	ナンブシロメ	6,951
	その他	6,323
宮城	あやこがね	6,563
	コスズ	8,046
	スズユタカ	6,295
	タチナガハ	6,589
	タンレイ	6,532
	ミヤギシロメ	7,291
	その他	5,598
秋田	コスズ	6,249
	タチユタカ	6,256
	リュウホウ	6,647
	その他	5,269
山形	エンレイ	6,355
	スズユタカ	6,417
	タチユタカ	6,312
	リュウホウ	6,520
	その他	5,359

県名	銘柄名	当該年産価格
福島	コスズ	6,500
	スズユタカ	6,296
	タチナガハ	6,290
	ふくいぶき	5,984
	その他	5,312
茨城	タチナガハ	6,530
	納豆小粒	7,815
	ハタユタカ	5,937
	その他	5,265
栃木	タチナガハ	6,656
	たまうらら	6,350
	いちひめ	6,480
	納豆小粒	8,600
	その他	5,200
群馬	タチナガハ	6,865
	ハタユタカ	6,705
	その他	7,008
埼玉	エンレイ	7,460
	タチナガハ	7,223
	白光	9,659
	その他	7,437
千葉	サチユタカ	6,898
	タチナガハ	6,986
	フクユタカ	6,988
	その他	6,052
長野	ギンレイ	6,665
	タチナガハ	7,050
	ナカセンナリ	6,958
	その他	5,956
新潟	あやこがね	6,260
	エンレイ	6,717
	コスズ	7,235
	その他	5,015
富山	エンレイ	6,970
	オオツル	6,863
	その他	5,934
石川	あやこがね	6,759
	エンレイ	6,508
	その他	5,146

県名	銘柄名	当該年産価格
岐阜	つやほまれ	6,450
	フクユタカ	6,444
	その他	5,400
静岡	フクユタカ	8,401
	その他	7,864
愛知	フクユタカ	6,874
	その他	5,203
三重	タマホマレ	5,676
	フクユタカ	6,457
	その他	5,805
福井	あやこがね	6,872
	エンレイ	6,455
	オオツル	6,361
	その他	5,308
滋賀	エンレイ	8,471
	オオツル	6,871
	タマホマレ	6,570
	フクユタカ	6,415
	その他	6,523
兵庫	サチユタカ	7,444
	その他	6,126
奈良	サチユタカ	6,805
鳥取	エンレイ	7,000
	サチユタカ	6,147
	すずこがね	6,060
	タマホマレ	6,191
	その他	6,297
島根	サチユタカ	6,195
	タマホマレ	6,033
	その他	5,532
岡山	サチユタカ	7,703
	タマホマレ	6,714
	その他	7,428
広島	アキシロメ	6,268
	サチユタカ	6,367
	その他	6,388

(単位:円/60kg俵)

県名	銘柄名	当該年産価格
山口	サチユタカ	6,157
	フクユタカ	6,090
	その他	6,300
香川	アキシロメ	7,000
	フクユタカ	7,000
	その他	6,991
愛媛	タマホマレ	6,587
	フクユタカ	6,653
	その他	6,507
高知	サチユタカ	7,600
	フクユタカ	8,896
	その他	7,600
福岡	サチユタカ	6,644
	すずおとめ	6,420
	フクユタカ	6,512
	その他	5,869
佐賀	エルスター	7,204
	フクユタカ	6,999
	むらゆたか	7,232
	その他	5,914
長崎	フクユタカ	6,958
	その他	5,740
熊本	フクユタカ	6,426
	その他	5,729
大分	トヨシロメ	6,331
	フクユタカ	6,437
	むらゆたか	6,629
	その他	5,803
宮崎	フクユタカ	6,484
鹿児島	フクユタカ	7,202
	その他	6,252

(参考) 品目横断的経営安定対策について(19年度～)

意欲と能力のある担い手に対象を限定し、品目横断的に経営全体に着目した対策を実施する。

1. 対象者の要件

- (1) 意欲と能力があると市町村が認定した農家・法人(認定農業者)及び一定の条件を備えた集落営農組織で、以下の経営規模要件を満たすことが必要。

認定農業者：4ha以上(北海道10ha以上)

集落営農組織：20ha以上

条件が不利な中山間地域や複合経営等には、経営規模の特例あり

- (2) また、国が定める環境規範を遵守すること、対象農地を農地として利用することが必要。

2. 生産条件不利補正対策

- (1) 過去の生産実績に基づく交付金

最近3年間(16年産～18年産)の麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの生産実績を面積に換算し、19年産以降毎年、それぞれの品目ごとに設定された単価に基づき支払い。

- (2) 毎年の生産量・品質に基づく交付金

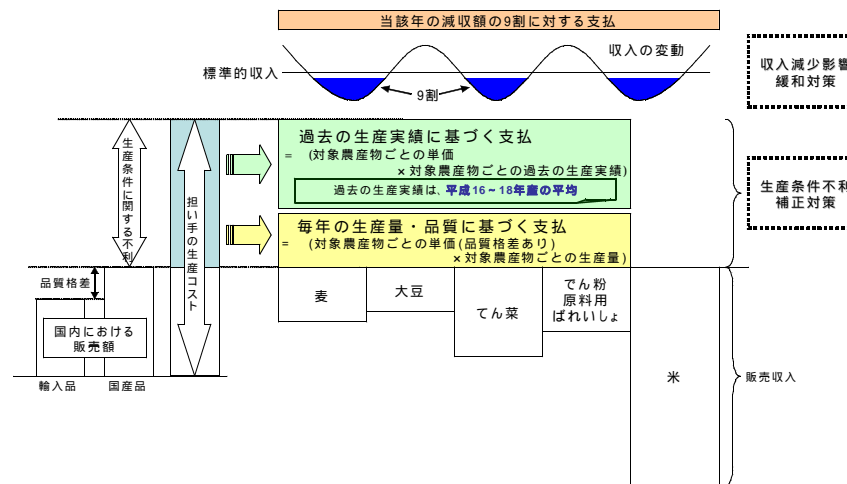
その年の麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの品質別の生産量に応じて、それぞれの品目ごとに設定された単価に基づき支払い。

3. 収入減少影響緩和対策

- (1) その年の米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょの販売収入の合計額が、過去5年の中庸3年の平均収入額より下がった場合に、差額の9割の範囲内で補てん。

- (2) 補てんの原資とするため、10%の減収に対応できる額を生産者1：国3の割合で拠出。

19年度以降の品目横断的経営安定対策の概要



生産条件不利補正対策における交付金の単価

	過去の生産実績に基づく交付金の単価 [面積単価]	毎年の生産量・品質に基づく交付金の単価 [数量単価]
小麦	27,740円 / 10a	2,110円 / 60kg (Aランク・1等の場合)
大豆	20,230円 / 10a	2,736円 / 60kg (2等の場合)
てん菜	28,910円 / 10a	2,150円 / トン (糖度17.1度の場合)
でん粉原料用ばれいしょ	37,030円 / 10a	3,650円 / トン (でん粉含有率17.4%の場合)

(注)面積単価は、単収の違いを反映して市町村別に設定。

大豆情報委員会だより

全中・全農・全集連主催 平成18年10月26日発行

1. 17年産大豆の価格・販売結果

17年産大豆の販売は、9月末で約14万3,687トンとなり、全ての販売を終了した。

入札販売価格は前年同期比4割安8,341円/60kg(消費税込)で始まり、緩やかな低下傾向で推移した。6,7月にはやや上昇したものの、累計平均は7,277円/60kg(同)となった。

2. 18年産大豆の生産・集荷見込み

農林水産省発表の18年産大豆の作付面積は14万2,000㌥で、前年対比8,000㌥(6%)増加している。

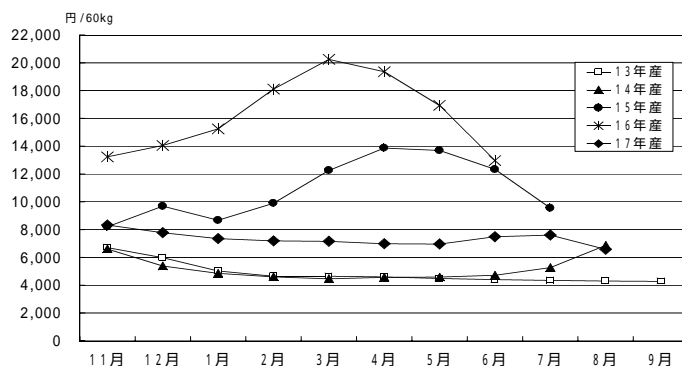
生育が概ね順調な中で、現時点での集荷量は約16万8,000トン(前年対比117%)を見込んでいる。

なお、契約栽培のは種前契約(予定数量)は、約7万7,800トンを締結している。

3. 品目横断的経営安定対策について

19年度以降の大豆の助成単価等については、18年8月7日に決定された。

17年産大豆月別入札販売価格の推移



18年産大豆の契約栽培締結状況

(単位:トン)

	18年産 生産計画(6月)	は種前契約 (予定数量)	契約 比率
全農計	156,240	74,500	48%
札幌	34,450	14,900	43%
東京	53,310	27,100	51%
名古屋	20,150	8,100	40%
大阪	8,470	5,500	65%
福岡	39,850	18,900	47%
全集連	6,630	3,300	50%
合計	162,870	77,800	48%

合計はラウンドのため一致しない場合がある。

大豆情報委員会HP: <http://www.maff.go.jp/soshiki/nousan/hatashin/joho/mokuji.html>

大豆作経営安定対策に係る当該年産価格（17年産）

県名	銘柄名	当該年産価格
北海道	秋田	7,523
	大曲舞	6,549
	大曲振	9,573
	音更大曲振	8,597
	スズメ	7,010
	スズメレ	7,081
	つるの子	11,592
	ツルムス	7,482
	とよまさり	8,205
	ハヤヒカリ	6,558
	エキシスカ	6,785
	その他	7,597
	青森	6,926
	おおすず	7,227
岩手	スズカリ	6,300
	オクシロメ	6,300
	とよまさり	6,300
	その他	5,197
	青いん	7,558
宮城	コスズ	7,320
	スズカリ	6,750
	ナンブシロメ	6,951
	その他	6,323
	あやかね	6,553
秋田	コスズ	8,046
	スズメ	6,295
	タチナガハ	6,589
	タネイ	6,532
	ミヤギシロメ	7,291
山形	その他	5,588
	コスズ	6,249
	タチナガハ	6,256
	リュウボウ	6,647
	その他	5,289
福島	エンレイ	6,355
	スズメ	6,417
	タチナガハ	6,312
	リュウボウ	6,520
	その他	5,359

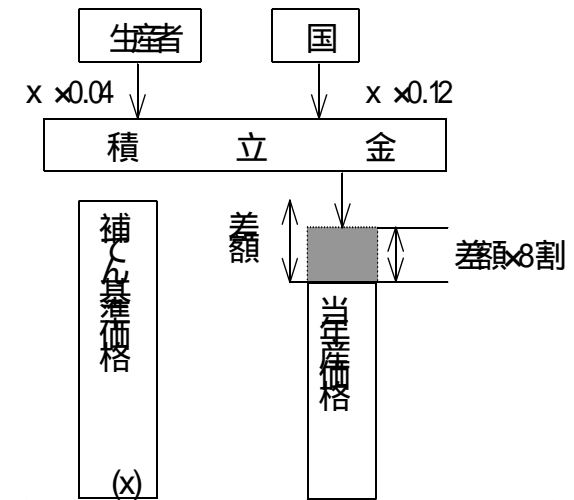
県名	銘柄名	当該年産価格
福島	コスズ	6,500
	スズメ	6,296
	タチナガハ	6,290
	ふくろき	5,984
	その他	5,312
茨城	タチナガハ	6,530
	納豆粒	7,815
	ハタタカ	5,937
	その他	5,265
	タチナガハ	6,666
栃木	たまうらら	6,350
	いぬめ	6,480
	納豆粒	8,600
	その他	5,200
	タチナガハ	6,885
群馬	ハタタカ	6,705
	その他	7,008
	エンレイ	7,460
	タチナガハ	7,223
	白光	9,669
千葉	その他	7,437
	サチユタカ	6,888
	タチナガハ	6,986
	フクユタカ	6,988
	その他	6,052
長野	ギンレイ	6,665
	タチナガハ	7,050
	ナカセナリ	6,958
	その他	5,956
	あやかね	6,260
新潟	エンレイ	6,717
	コスズ	7,235
	その他	5,015
	エンレイ	6,970
	オオシロ	6,863
富山	その他	5,934
	あやかね	6,759
	エンレイ	6,508
	その他	5,146

県名	銘柄名	当該年産価格
岐阜	つばき	6,460
	フクユタカ	6,444
	その他	5,400
静岡県	フクユタカ	8,401
	その他	7,864
	フクユタカ	6,874
愛知県	その他	5,203
	タチナガハ	5,676
	フクユタカ	6,457
三重	その他	5,805
	あやかね	6,872
	エンレイ	6,455
福井	オオシロ	6,361
	その他	5,308
	エンレイ	8,471
滋賀	オオシロ	6,871
	タチナガハ	6,570
	フクユタカ	6,415
京都府	その他	6,523
	サチユタカ	7,444
	その他	6,126
兵庫県	サチユタカ	6,805
	エンレイ	7,000
	サチユタカ	6,147
奈良県	すずこがね	6,060
	タチナガハ	6,191
	その他	6,297
鳥取県	サチユタカ	6,195
	タチナガハ	6,033
	その他	5,532
岡山県	サチユタカ	7,703
	タチナガハ	6,714
	その他	7,428
広島県	アキシロメ	6,288
	サチユタカ	6,357
	その他	6,388

(単位:円/60g俵)

県名	銘柄名	当該年産価格
山口	サチユタカ	6,157
	フクユタカ	6,090
	その他	6,300
香川	アキシロメ	7,000
	フクユタカ	7,000
	その他	6,991
愛媛	タチナガハ	6,587
	フクユタカ	6,663
	その他	6,507
高知	サチユタカ	7,600
	フクユタカ	8,886
	その他	7,600
福岡	サチユタカ	6,644
	すずおとめ	6,420
	フクユタカ	6,512
佐賀	その他	5,889
	エリスター	7,204
	フクユタカ	6,999
長崎	むらゆか	7,232
	その他	5,914
	フクユタカ	6,998
熊本	その他	5,740
	フクユタカ	6,426
	その他	5,729
大分	トミシロメ	6,331
	フクユタカ	6,437
	むらゆか	6,629
宮崎	その他	5,803
	フクユタカ	6,484
	フクユタカ	7,202
鹿児島	その他	6,252

大豆作経営安定対策のイメージ図



大豆作経営安定対策のスケジュール(18年産)

18年5月	補てん基準価格の決定
18年6月末	生産者加入契約・数量契約
18年7月末	生産者拠出金の納付
出荷量の確定後	契約数量の変更・生産者拠出金の精算
19年11月	18年産価格の決定 銘柄別補てん率の決定(全農・全集連)
20年3月ごろ	補てん金の交付